

第148期京都中央労働学校『本科』募集要項

講義時間は、午後7時～9時10分（休憩も含まます）

20回講義のうち15回以上出席した方に修了証書をお渡しします。

テキストは、学習レジュメを準備しています。

受講料は、10,000円です。金額に消費税が含まれています。

会場は、『京都学習会館』（上京区堀川丸太町西一筋目上ル）です。

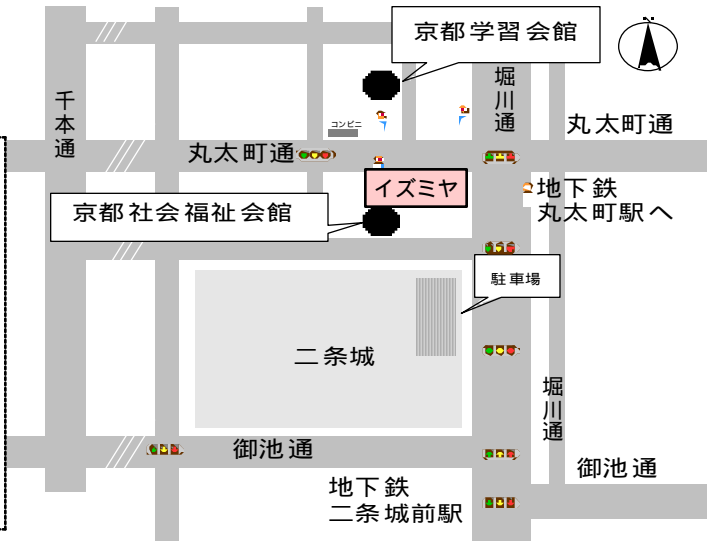
京都労働者学習協議会

電話(075)841-8141

FAX(075)821-3665

『京都学習会館』には二・四輪共に駐車場はありません。二条城市営駐車場へお願いします。

地下鉄丸太町駅・二条城前駅から『京都学習会館』まで歩いて10分以内です。



キリトリ

申込先は

京都労働者学習協議会

電話 075-841-8141

FAX 075-821-3665

2014年6月21日(土)午後7時
『本科』開校オリエンテーション



第148期生募集中
京中央労働学校

第148期京都中央労働学校 申込用紙			
申込みチェック 本科 哲学科 経済学科 労働運動学科			
ふりがな	性別	年齢	
氏名:	男・女	才	
現住所			
職場・学園			
労働組合 (全国単産)			
電話: 職場 () - 自宅 () -			

中央労働学校 本科

中央労働学校の本科では、科学的社会主義を総合的・体系的に学びます。

みなさんは、この日本が資本主義社会であることはご存じですか。資本主義は「雇われて働く」ことを特徴としています。また、「もうけを目的に生産」活動をおこなっています。私たちを苦しめる不安定な雇用と長時間労働、「生きづらさ」……みんなこの資本主義という仕組みから出てくるといわれます。これをまず解明します。そして、「知のESS CENCE」で「人間らしさと働くこと」、「知性とは、自由とは」と学び“わたしたちの考える力”を高めていきます。そして、未来社会について学びます。……資本主義は永遠の社会ではありません。封建制の社会が変わったように、新しい社会へと進んでゆきます。その法則・必然性を学びます。

日程

講義

6/21(土)『本科』開校オリエンテーション

- 6/24(火)第01課 マルクスは何を発見し変革したか
- 6/27(金)第02課 資本主義経済の基礎 商品の価値とはなにか
- 7/01(火)第03課 雇われて働くとはどういうことか 賃金は労働の価格
- 7/04(金)第04課 利潤の源泉とその実現 搾取のしくみ
- 7/08(火)第05課 利潤はどのように分配されるか 資本主義社会の経済的基礎
- 7/11(金)第06課 資本主義経済の出発点 世界と日本
- 7/15(火)第07課 *知のESSCENCE 人間らしさと働くこと
- 7/18(金)第08課 不況はなぜおこるのか 景気循環と恐慌
- 7/22(火)第09課 *知のESSCENCE 「競争」は成長・発展の源泉か
- 7/25(金)第10課 マルクス「労働組合 過去、現在、未来」を読む
- 7/29(火)第11課 *知のESSCENCE 知性とは、自由とは
- 8/01(金)第12課 働くものの味方はだれか 政党のはなし
- 8/05(火)第13課 *知のESSCENCE 現代の“神話”と宗教を考える
- 8/08(金)第14課 資本主義の現段階 独占資本主義の基礎
- 8/19(火)第15課 *知のESSCENCE 現実をとらえる方法 唯物論と弁証法
- 8/22(金)第16課 グロバリゼーションと“矛盾”の深化
- 8/26(火)第17課 *知のESSCENCE マルクスの“社会観・歴史観”とは
- 8/29(金)第18課 日本の変革の“展望と条件”
- 9/02(火)第19課 世界でひろがる社会変革の流れ
- 9/05(金)第20課 人類の未来社会 “社会主義・共産主義”とは

中央労働学校 専科

専科の受講料は、哲学科、労働運動学科は、5000円 経済学科は6000円
修了基準は、哲学科、労働運動学科は、4回出席。経済学科は、5回出席。
会場は、『京都学習会館』
定員は40名です。定員になり次第締め切ります。

第148期 哲学科 「社会発展の歴史と法則」

講師 鱒坂 真
関西大学名誉教授

- 6/26(木) 第1課 人類社会の成立と発展
- 7/03(木) 第2課 階級の発生 生産力の拡大と剰余生産物
- 7/10(木) 第3課 階級社会の歴史 奴隷制社会、封建制社会、資本主義社会
- 7/17(木) 第4課 社会発展の法則 生産力と生産関係
- 7/24(木) 第5課 階級闘争の法則性 労働者階級の歴史的使命と人類の未来

第148期 経済学科 「資本論」を基礎に現代資本主義を考える

講師 上瀧 真生
流通科学大学教授

- 6/23(月) 第1課 今日の経済を支配しているのは誰か(1)
- 6/30(月) 第2課 今日の経済を支配しているのは誰か(2)
- 7/07(月) 第3課 労働時間の延長と制限をめぐるたたかい
- 7/14(月) 第4課 資本主義における生産力発展はなにをもたらすか
- 7/21(月) 第5課 資本蓄積と“失業と半失業”
- 7/28(月) 第6課 資本の運動は“ムダ”と犠牲を生む

第148期 労働運動学科 「労働組合とはなにか その発展方向」

講師 伊藤 大一
大阪経済大学教授

- 6/26(木) 第1課 「過去、現在、未来」の歴史的背景と意義
- 7/03(木) 第2課 「労働組合 その過去」 資本主義社会と労働者
- 7/10(木) 第3課 「労働組合 その過去」 労働組合がはたしうる歴史的役割
- 7/17(木) 第4課 「労働組合 その現在」 歴史的使命にめざめはじめた労働組合
- 7/24(木) 第5課 「労働組合 その未来」 社会変革における労働組合の役割